

(別添2) 雪や凍結路面が関係する事故—データと事例

令和2年版消防白書によると、過去10年間（平成22年11月～令和2年3月）の雪害による犠牲者は803人に上ります¹。総務省消防庁「今冬の雪による被害状況等」によると、昨冬（令和2年11月～令和3年4月）の雪害による死者は110人で、そのうち95人（86%）が「屋根の雪下ろし等、除雪作業中」でした²。また、65歳以上が91人で8割以上を占めています。年別に比較すると、平年に比べて降雪量が多い（少ない）年には雪害による死者数も多い（少ない）傾向がみられます（図1、2）。

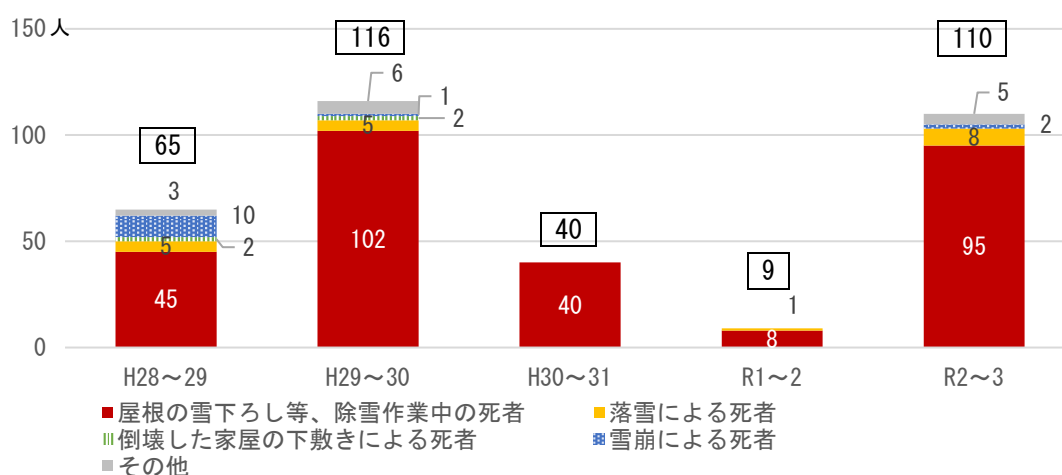


図1 雪害による死者の状況別人数³（総務省消防庁）

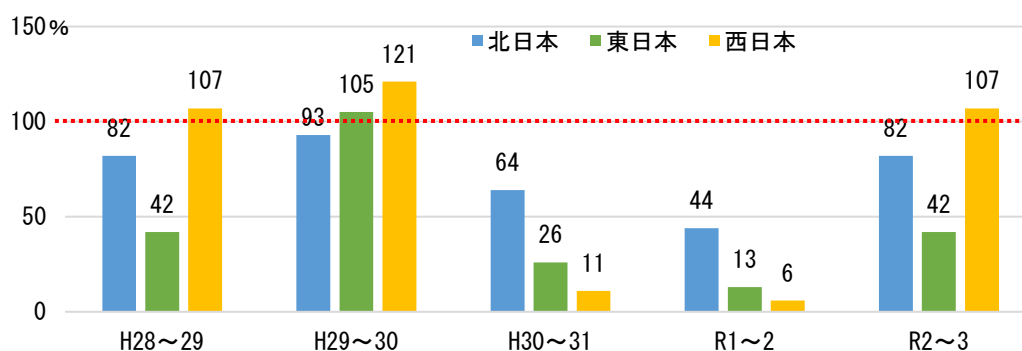


図2 冬の降雪量の地域平均平年比⁴（気象庁）

¹ 総務省消防庁「令和2年版 消防白書」第1章 災害の現況と課題 第8節 その他災害対策「雪害対策」
<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r2/56707.html>

² 総務省消防庁「今冬の雪による被害状況等（～令和3年4月30日）」
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/setugai202104.pdf>

³ 総務省消防庁「今冬の雪による被害状況等」平成29年から令和3年に発表された速報値を消費者庁が取りまとめたもの。交通事故及び転倒によるものを含まない。ただし、除雪作業中のものは含む。

⁴ 気象庁「冬（12～2月）の天候」（平成29年～令和3年）別紙の表「地域平均平年差（比）と階級」

また、東京消防庁がまとめた平成 30 年 1 月における気象状況と救急搬送人員の関係⁵を見ると、降雪後の数日間は路面凍結などの理由により、滑って転倒した際に受傷するなどの事故による救急事故が多くなっていました（図 3）。

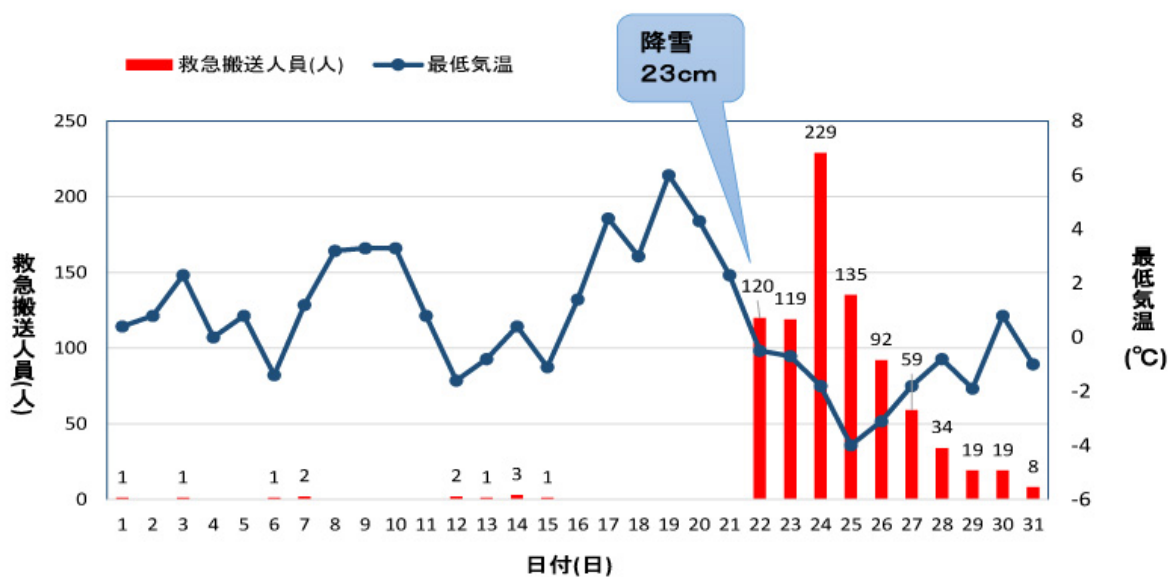


図 3 気象状況と救急搬送人員（平成 30 年 1 月、東京消防庁管内）

⁵ 東京消防庁「積雪や凍結路面に係る救急事故に注意しよう」 3 気象状況と救急搬送人員の関係
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2021/202101/camp3.html#camp3-an01>

＜医療機関から寄せられた事故情報＞

消費者庁・独立行政法人国民生活センターには、医療機関ネットワーク事業⁶を通じて、平成22年12月から令和3年11月までの11年間に、除雪中の転落や雪道で滑って転倒するなどの事故の情報が88件寄せられています（図4）。

雪かきや雪下ろしなどの除雪作業や、雪囲いの作業中の事故が35件あったほか、雪道や凍結した路面を歩いたり、自転車に乗っている最中に滑るなどした事故が46件ありました。このほか、雪遊び中の事故が5件、歩行中の落雪が1件、車周辺に積雪がある状態でエンジンをかけて一酸化炭素中毒になった事故が1件ありました。

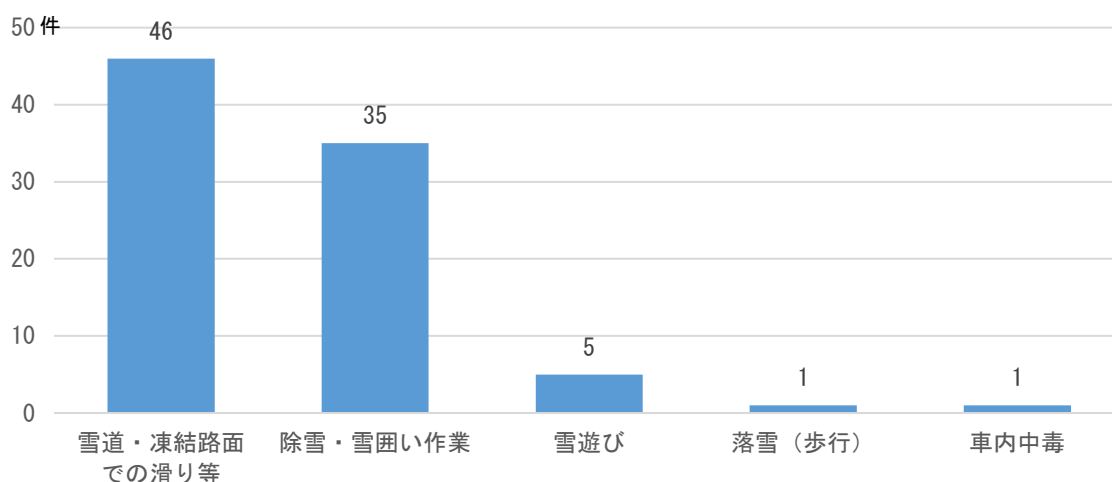


図4 事故発生状況別件数（n=88）

【事例1】雪下ろし中にはしごと屋根から転落

屋根の雪下ろしをしていたところ、はしごと転落した。歩行困難のため受診したところ、右足関節と左足のかかるとに骨折があり、入院となった。

（事故発生年月：平成24年2月、70歳代男性、要入院）

【事例2】雪囲いの作業中にはしごから転落

はしごの固定金具を留めないまま、雪囲いをしていたところ、急にはしごが倒れたため、バランスを崩して転落した。その際に、はしごに脚が挟まれ受傷した。

（事故発生年月：平成27年12月、30歳代男性、要入院）

⁶ 「医療機関ネットワーク事業」は、参画する医療機関（令和3年11月末時点で30機関が参画）から事故情報を収集し、再発防止にいかすことを目的とした、消費者庁と独立行政法人国民生活センターとの共同事業（平成22年12月運用開始）。件数は本件のために消費者庁が特別に精査したもの。

【事例3】融雪槽への転落

足を踏み外し、深さ約2.5mの融雪槽に落下した。胸部を打撲し、足関節を骨折した。
(事故発生年月：平成27年1月、60歳代男性、要通院)

【事例4】階段に積もった雪で滑って転落

夜、外階段に積もっていた雪で足が滑って転落し、顔面に挫創を負った。
(事故発生年月：平成27年2月、40歳代女性、要通院)

【事例5】自転車走行中に凍結路面で滑って転倒

雪が降った翌日、電動自転車の前後の幼児用座席に子どもを乗せて走っていたところ、日陰で凍っていた横断歩道の白い舗装で滑り転倒した。前方の子どもが顔に擦過傷を負い、ぐったりした様子だったため救急要請した。
(事故発生年月：平成27年2月、2歳男児、要通院)

【事例6】歩行中の落雪による事故

子どもを抱っこして外を歩いている時に、上から硬い雪が落ちてきて前額部に当たり擦過傷を負った。
(事故発生年月：平成30年1月、0歳女児、即日治療完了)

【事例7】雪遊び中の事故

高さ約2mの雪山でソリ滑りをしていたところ、そのまま15mくらい滑走し、金属製の柵に前頭部をぶつけた。CT検査で軽度の脳挫傷があったため経過観察目的で入院した。
(事故発生年月：平成27年1月、3歳女児、要入院)

<雪や凍結路面の事故防止に役立つ参考リンク集>

雪や凍結路面の事故防止を目的としたウェブサイト上のコンテンツの一部をとりまとめたので、注意するポイント等について事前に確認しておきましょう。

首相官邸「雪害では、どのような災害が起こるのか」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/setsugai.html>

除雪中の事故、雪道での事故、雪のレジャー、雪崩による事故についての事例と事故防止のポイント等が紹介されています。

国土交通省「雪下ろし安全 10 箇条～除雪作業中の事故に注意しましょう～」

https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/kokudoseisaku_chisei_tk_000139.html

内閣府・国土交通省パンフレット「よくある除雪作業中の事故とその対策」

http://www.bousai.go.jp/setsugai/pdf/h2312_004.pdf

東京消防庁「積雪や凍結路面に係る救急事故に注意しよう」

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2021/202101/camp3.html#camp3-an00>

国土交通省「雪みちの運転テクニックに関するリンク集」

<https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/drive.html>

独立行政法人 国民生活センター「金属製タイヤチェーン使用時のトラブルに注意ー緩みや速度超過などは、チェーン切れや思わぬ事故につながりますー」

https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20170119_1.html

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）「雪道・アイスバーンでの運転の注意点」

<https://jaf.or.jp/common/attention/snow>

<本資料に関する問合せ先>

消費者庁消費者安全課

TEL : 03 (3507) 9200 (直通)

FAX : 03 (3507) 9290

URL : <https://www.caa.go.jp/>